

2022年7月8日

SOMPOホールディングス株式会社
損害保険ジャパン株式会社
公益財団法人SOMPO美術財団

SOMPOグループによるゴッホの《ひまわり》等を通じた ウクライナおよび近隣国における人道支援活動に向けた寄付の実施

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO 取締役 代表執行役会長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、平和のシンボルとなっている「ひまわり」に関連して、損害保険ジャパンが所蔵し、SOMPO美術館（運営はSOMPO美術財団）で常設展示しているゴッホの《ひまわり》を通じて、ウクライナおよび近隣国における人道支援活動への寄付を実施しました。

1. SOMPOグループの寄付内容

SOMPOグループでは、SOMPO美術館（東京都新宿区）で開催した「シダネルとマルタン展」の会期中（2022年3月26日（土）～2022年6月26日（日））における来館者数および本企画展を紹介する動画の再生回数に応じて、ウクライナおよび近隣国における人道支援活動を行う以下の支援先へ、計84,532,205円の寄付を行いました。平和を願う多くのステークホルダーの皆さまからの温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

■寄付総額：84,532,205円

- ・ 来館者数：41,708人
- ・ 本企画展の紹介動画再生回数：1,186,627回
- ・ 寄付総額を下記5団体それぞれに16,906,441円の寄付を実施しました。
- ・ 寄付額は、入館者一名あたりの一般観覧料1,600円および、ゴッホが描いた15輪のひまわりをもとに一再生回数を15円で算出しております。

2. 寄付先5団体の活動について

今回寄付を実施した支援先によるウクライナおよび近隣国における人道的支援活動については、以下のとおりです。

<寄付先5団体>

- ・ UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）：<https://www.japanforunhcr.org/activity-areas/ukraine>
- ・ UNICEF（国連児童基金）：<https://www.unicef.or.jp/kinkyu/ukraine/>
- ・ セーブ・ザ・チルドレン：<https://www.savechildren.or.jp/lp/childemergencyfund/>
- ・ 日本赤十字社：https://www.jrc.or.jp/foreign_rescue/ukraine2022.html
- ・ ジャパン・プラットフォーム：<https://www.japanplatform.org/programs/ukraine2022/>

また、SOMPOちきゅう倶楽部※からUNHCRおよびUNICEFへ合計100万円を寄付する他、SOMPO美術館での募金箱の設置やSOMPO美術館ミュージアムショップで販売した《ひまわり》ポストカードの売上の一部寄付などもあわせて実施しました。(詳細は[こちら](#))

※SOMPOグループの役職員で構成するボランティア組織で、役職員の有志が任意の金額を給与から寄付するSOMPOちきゅう倶楽部社会貢献ファンドを運営しています。



SOMPO美術館



**《ひまわり》1888年
フィンセント・ファン・ゴッホ**

3. 今後に向けて

SOMPOグループでは、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」という「SOMPOのパーパス」を掲げており、ウクライナをはじめとした国際社会に、一日でも早く平和が訪れることを祈っております。

世界的に平和の象徴とされる《ひまわり》の美術作品が、多くのステークホルダーの皆さまにとって改めて平和について考えるきっかけとなり、支援の輪が広がることを願っております。

SOMPO美術館ではTwitter・Instagram等のSNSを通じて展覧会の様子や最新の情報を公開していますので是非ご覧ください。

<Twitter>

<https://twitter.com/sompomuseum/>

<Instagram>

https://www.instagram.com/sompo_museum/

以上